

今、学校園がおもしろい!

発行: 泉佐野市教育委員会 教育部【2020年10月23日】

Welcome to Japan! ～長南小学校～

9月1日(金)、長南小学校において6年生の外国語科の公開授業が行われ、市内各小中学校の外国語担当教員が授業を参観しました。今年度、長南小学校では、長南中学校の英語教員(小中連携教科指導加配)、ALT、学級担任の3人体制で5・6年生の外国語科の授業を行っています。

公開されたのは”Welcome to Japan.”という、海外の人に向けて日本の文化を英語で紹介する内容の単元です。子どもたちの意欲を引き出すために、単元の最後に海外の人に向けたスピーチが設定されており、当日は、スピーチ本番に向けて子どもたちが練習をしている様子が公開されました。授業の中心はグループ活動で、発表者の英語のスピーチを班のメンバーが聞き取り、積極的にアドバイスをし合っていました。



授業後の研究協議では、「中学校教員による、ほぼオールイングリッシュの授業にもかかわらず、子どもたちは積極的に活動していた。」「子どもたちの発音がとてもきれいだった。」「スピーチの原稿となるワークシートの英文はどうやって書かせたのか?」といった意見や質問がたくさん出され、非常に有意義な協議会となりました。

全体的に外国語のスキル以上に、子どもたちが互いに励ましあったり、助言しあったりしている姿、また、子どもたちを支え応援している3名の教員の姿勢等、教室の雰囲気のアたたかさが強く印象に残る授業でした。

続くスピーチ本番は、9月16日(水)に行われました。リモートで教室の子どもたちと海外の方をつなぎ、画面越しに子どもたちがスピーチを披露しました。練習とは違い、少し緊張気味の子もたちでしたが、自分の話す英語が伝わった時の喜びを感じることができたのではないのでしょうか。

今回、市の国際交流員のエマニュエルさんと、ALTの友人の方に協力いただきました。授業の後半には、実際にエマニュエルさんが教室に登場するというサプライズもありました。そこからは原稿なしの英語でのやりとりが展開され、これまでに習った”What ~ do you like?”等といった表現を使い、エマニュエルさんに好きなスポーツや食べ物、日本の文化を質問できた子どももいました。

英語を学ぶことのおもしろさ、コミュニケーションの楽しさを子どもたちが少しでも感じてくれたら…。授業者のそんな願いが込められた単元となりました。今後も子どもも教員も楽しめる外国語の授業が展開されることを期待しています。



社会体験研修～中央図書館にて～

8月25日(火)から9月25日(金)にかけて、泉佐野市立中央図書館の皆さんのご協力のもと、社会体験研修を実施しました。社会体験研修は初任者研修の一環で、「地域における社会体験活動や学校間連携等の研修を実施することにより、地域社会との連携を図るとともに教員としての資質向上を図る」という目的のもと、2年目の教員を対象に実施しています。

研修前には受講者が研修計画書を作成しました。「日頃、自分自身が読書をする機会がほとんどない」といった課題を整理し、「本の貸し借り以外にどんな図書館の活用方法があるのか知りたい」といった見通しを持って研修に参加しました。

研修は午前9時から12時までの3時間で、開館前の図書館の業務から参加させていただきました。研修中は職員の方がマンツーマンで付き添ってくれ、普段知ることのできない図書館の裏側を垣間見ることができました。

例えば書架整理。図書館法に則り本が整理されているだけでなく、季節に合わせた本やおすすめの本を前面にディスプレイするなど、さりげない工夫があちこちに散りばめられています。「自分が前に出した本が借りられるととても嬉しい」と、司書さんの思いを聞くこともできました。返却業務は利用者の方と一番よく接することができる業務です。書籍だけでなくCDやDVDも借りることができると知り、受講者も新たな図書館の活用方法を見つけたようです。

その後は受講者自身が選んだ本を紹介するためのPOP※を作成しました。本の魅力を伝えたいという気持ちを育てることの大切さや、見る人の目に留まるような表現方法の工夫を教えてください、「学校でもPOPを作成し、読書の魅力を子どもたちに伝えたい」「子どもたちと一緒にPOPを作成してみたい」等と感じた教員もいたようです。

最後は調べ学習の方法を教えてくださいました。近年はインターネットで調べ学習をする機会も増えていますが、図書館で調べ学習をしてみると「図書館は資料の宝庫である」という感想を持った受講者もいるほど、図書館の情報量の多さに一同驚いていました。また、複数の情報を見比べて信憑性を高めること、調べたことをまとめる際には出典を明記し著作権を守ること等、子どもたちにも伝えたいポイントも教えてくださいました。

今回の研修を受講した2年目の教員は、図書館のおもしろさを存分に感じ、子どもたちにも図書館の魅力を伝えたいという思いを強めました。しかしそれ以上に、図書館の職員の皆さんの温かさ、対応の丁寧さに感銘を受けたようです。中央図書館の皆さん、ご協力いただき本当にありがとうございました。



※POP…Point of purchase advertising(購買時点広告)の頭文字からとった略語(ポップ)です。